

市政報告会

会次第

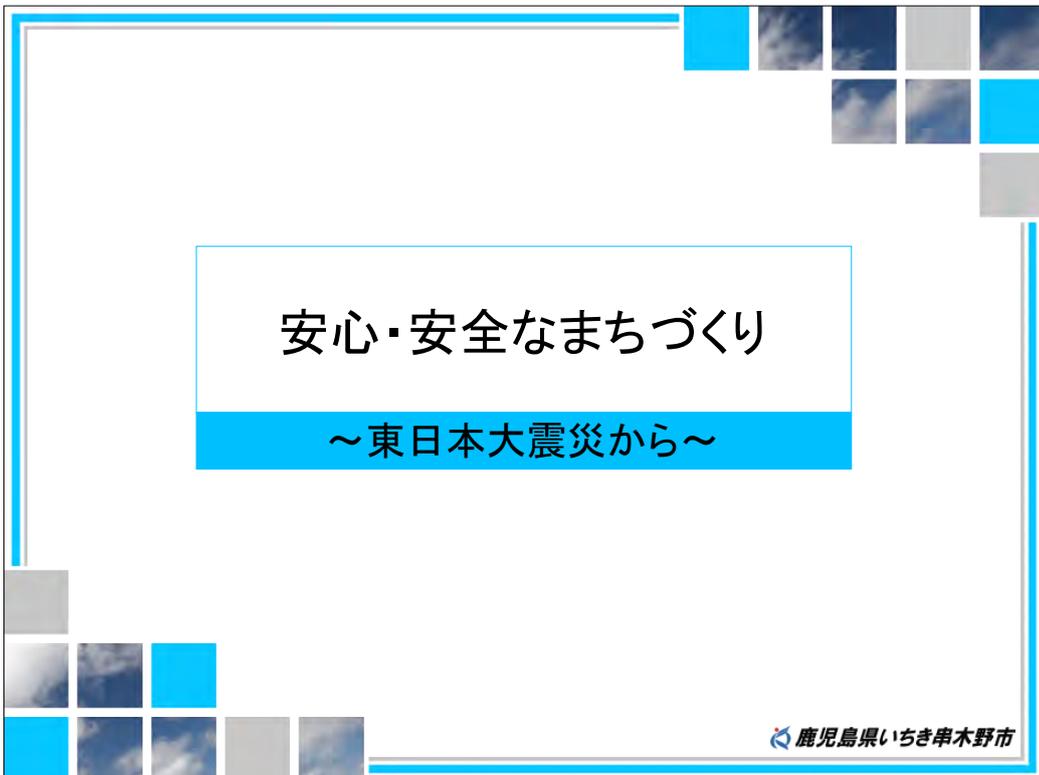
1. 市政報告
2. 原子力災害対策
暫定計画の説明
3. 地区のテーマ
4. 意見交換



鹿児島県いちき串木野市

安心・安全なまちづくり

～東日本大震災から～



鹿児島県いちき串木野市

東日本大震災の教訓

東日本大震災

国・地方自治体の
危機管理が大きく問われた

いちき串木野市

災害危険予想箇所調査

防災ハザードマップの作成
地域防災計画の見直し

緊急防災・減災対策事業（国の補正予算の活用）

■耐震補強等

串木野小学校、市来中学校、
中央公民館、市民文化センター

■非常時の体制整備

消防救急無線デジタル化
防災行政無線再整備
非常用電源整備
避難所等表示板設置

■小・中学校の耐震化率（H24.4.1現在）

区分	要改修	耐震化率
小学校	8棟	80.5%
中学校	6棟	75.0%
合計	14棟	78.5%



鹿児島県いちき串木野市

原子力災害対策

～福島第一原発事故から～

鹿児島県いちき串木野市

原子力災害対策

国＝防災対策指針見直し ⇒対策の重点地域：30kmへ拡大の方向

鹿児島県原子力災害対策暫定計画（平成23年12月策定）

※国の改定等による「鹿児島県原子力防災計画」の見直しまでの計画

距離 / 段階	緊急に避難必要	事態が悪化	さらに悪化
5* ₀ 圏内	直ちに避難	避難対象区域	避難対象区域
5~10* ₀ 圏内	屋内退避(避難準備区域)	屋内退避(避難準備区域)	
10~20* ₀ 圏内			



■広域避難計画の概要

いちき串木野市

- ・南薩地域
- ・鹿児島地域等

薩摩川内市

- ・始良・伊佐地域
- ・鹿児島地域等

阿久根市

- ・北薩地域
- ・始良・伊佐地域等

■緊急被ばく医療体制の充実

■環境放射線モニタリングの強化

原子力災害対策

いちき串木野市 原子力災害対策暫定計画

（平成24年3月策定）

■広域避難計画の概要

本市の一部の地域が20キロ圏外だが、全市を避難対象区域とする。

地区名	避難先
羽島、荒川、冠岳、湊町、川上、川南	南九州市
生福	鹿児島市
本浦、上名	枕崎市
野平、旭、中央、大原、照島、湊、川北	指宿市

■8月11日 原子力防災訓練

検証と課題の抽出

主要避難計画概要図



川内原子力発電所

これまでの主な経過

- 平成23年
- 3月11日 福島第一原発事故の発生
 - 30日 国が「緊急安全対策の実施」を指示
 - 4月26日 九州電力が「緊急安全対策」を報告
 - 5月 6日 国が「緊急安全対策」を評価
 - 5月10日 川内1号機が定期検査開始
 - 6月13日 原子力安全・保安院が市及び議会へ「緊急安全対策」を説明
 - 7月22日 国が「総合評価（ストレステスト）」の実施を指示
 - 8月26日 九州電力が川内1号機について「ストレステスト」を開始
 - 9月 1日 川内2号機が定期検査開始
 - 10月 7日 九州電力が川内2号機について「ストレステスト」を開始
 - 12月14日 九州電力が川内1, 2号機及び「ストレステスト」評価結果を国へ提出
- 平成24年
- 1月以降 原子力安全・保安院で「ストレステスト」を評価

平成23年3月28日
 ・3号機増設計画の凍結
 ・1, 2号機の安全対策を要請

「原子力規制委員会設置法」

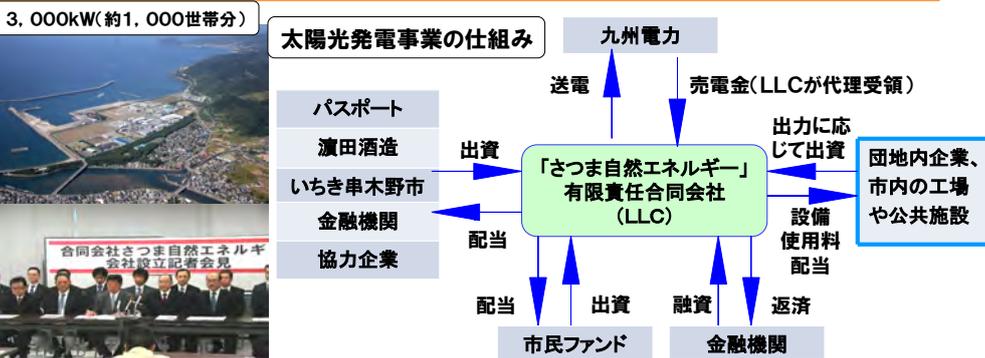
- 独立した委員会を設置、事務局に原子力規制庁
- 原子力安全規制の転換
- 原子力防災対策の強化

再稼働の審査

再生可能エネルギーの導入促進

■固定価格買取制度がスタート（7月1日） 全国的な導入の取組の活発化

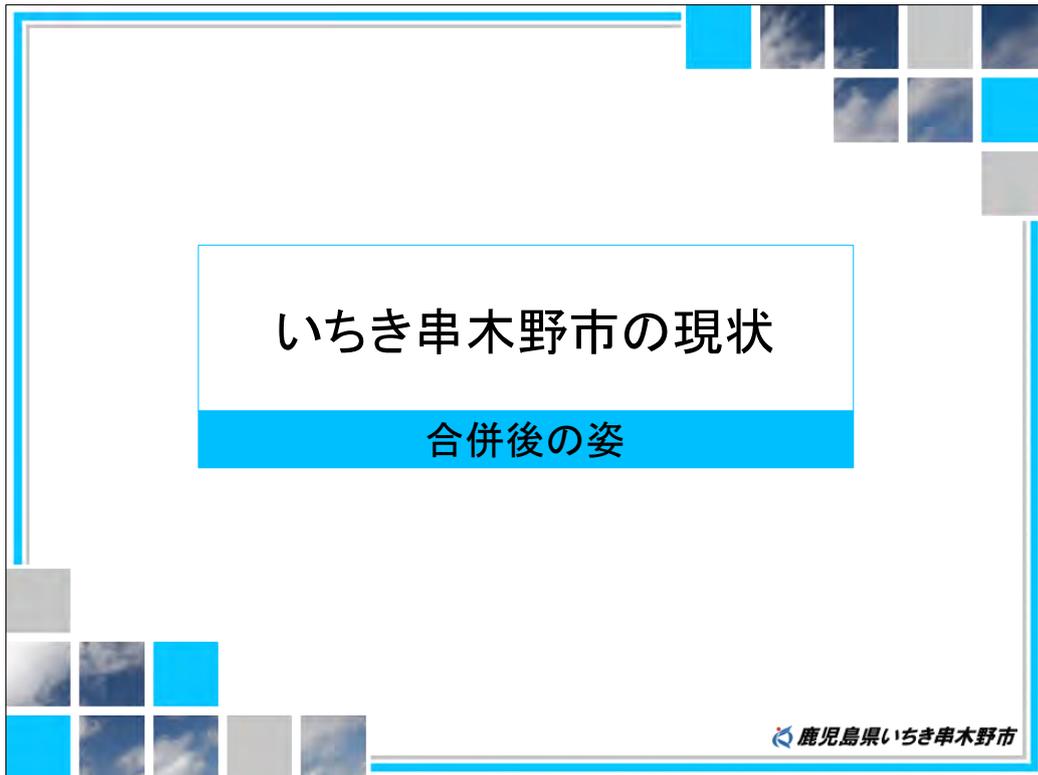
■合同会社「さつま自然エネルギー」（太陽光発電事業）7月1日送電開始



■串木野れいめい風力発電所

20,000kW(約10,000世帯分)

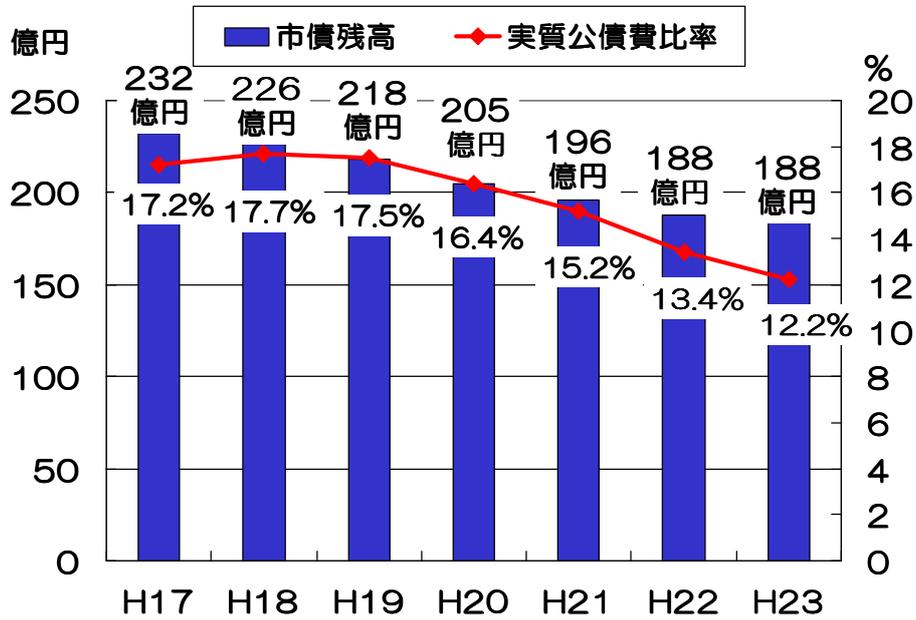




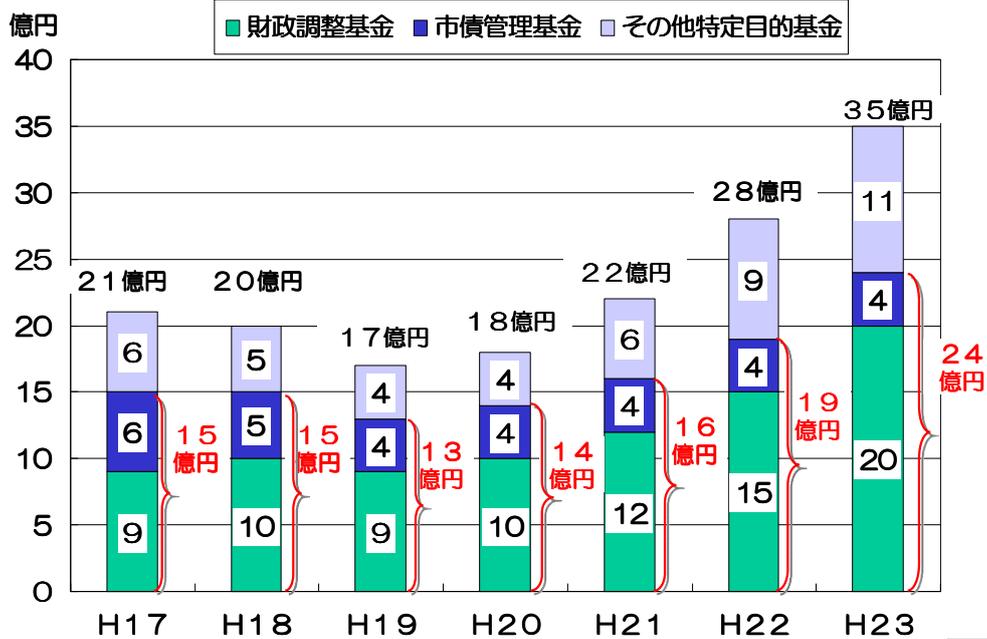
いちき串木野市の現状

- 市町合併から6年半・・・
 - 第一の理念**
 - 融和と一体感の醸成
 - 合併効果を生み出すこと
- 第一次総合計画・行政改革大綱などの新市の基本を設計
- 特に **効率的な行財政システムの構築は急務であった。**
 - ⇒ **財政基盤の強化のため、「行政改革」に力点**
- 第一次行政改革大綱
 - 【5年間の行革効果額】**
 - 28億2千万円の効果!!**
 - 目標額に対し **110.2%達成**
 - 人件費の削減
 - 職員の削減△49人(H23.4.1現在)
 - 給料削減
 - 物件費削減、繰出金抑制
 - 経常経費の削減
 - 歳入の確保
 - 徴収強化、未利用財産の売却

市債（市の借金）残高の推移



基金（市の貯金）残高の推移



いちき串木野市の現状

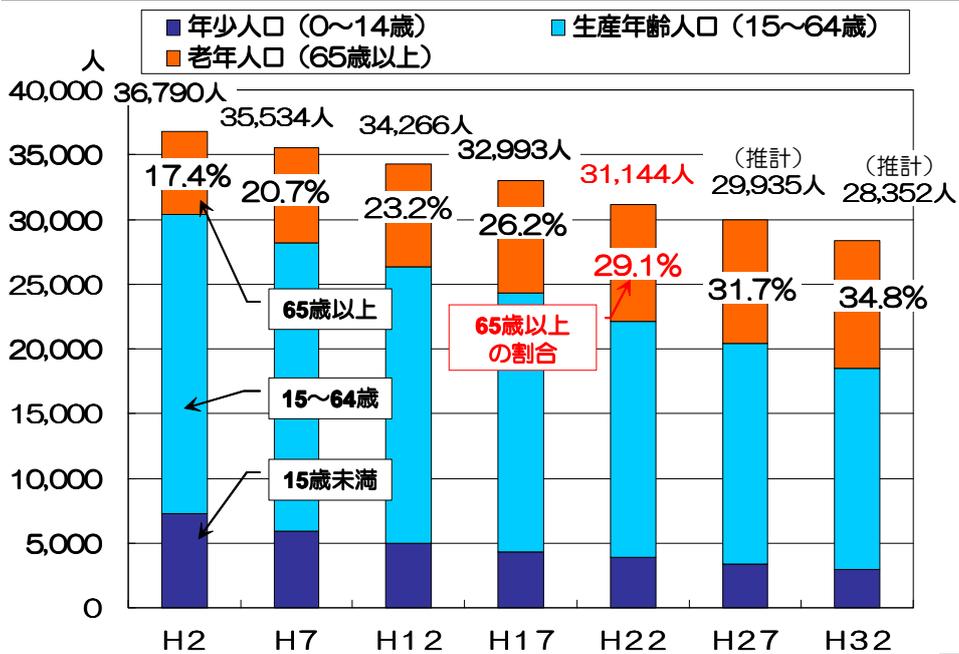
■この間の社会情勢は・・・

- 世界的な金融危機
- 消費の低迷
- 雇用情勢の悪化
- 東日本大震災

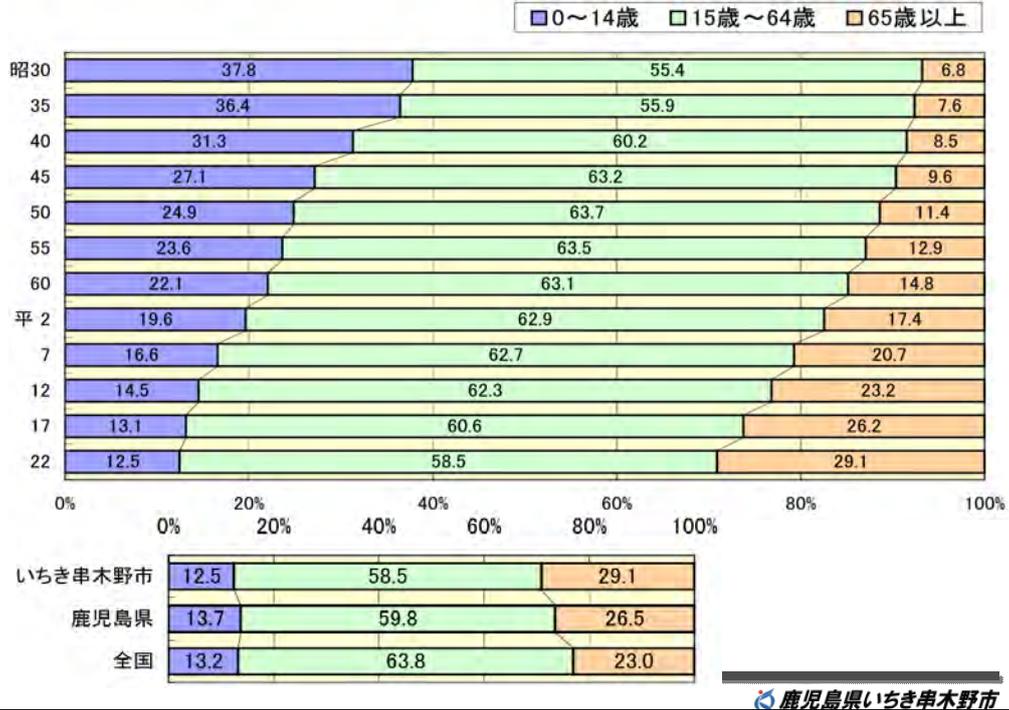
- 少子・高齢化の進行
- 人口減少化社会

- 国内経済・地方経済とも依然として厳しい状況
- 漠然とした不安感・閉塞感

人口の推移



年齢（3区分）別人口割合の推移



いちき串木野市の取組

～これからのまちづくり～

第一次総合計画後期基本計画

基本構想(10か年) 平成19年度～平成28年度

前期基本計画(5か年)
平成19年度～平成23年度

後期基本計画(5か年)
平成24年度～平成28年度

住民と行政とのパートナーシップ^(注1)による
『共生・協働のまちづくり』

健康で文化的な生活を営める
『元気で安心できるまちづくり』

将来都市像(=めざすべき都市像)
『ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち』

世界に羽ばたく力強い産業が展開する
『活力ある産業のまちづくり』

利便性が高く美しいまちを創造する
『快適な環境のまちづくり』

いちき串木野市の取組

■総合計画
分野別に多様な施策

共通の問題意識
=「人口」

共生・協働

安心できる

「人口」

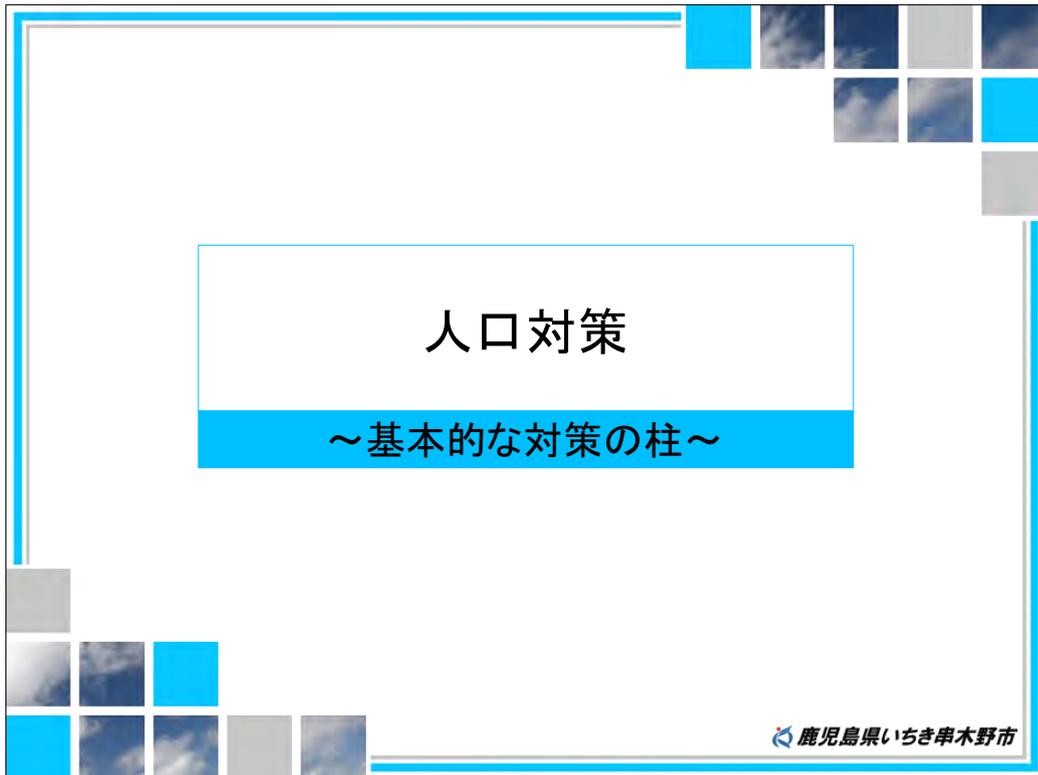
活力ある産業

快適な環境

■本市の人口動態

(単位：人、各年度住民基本台帳)

区分 年度	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
H 2	347	337	10	1,836	2,259	▲423
H 7	274	371	▲97	1,767	1,850	▲83
H12	295	367	▲72	1,505	1,644	▲139
H17	230	377	▲147	1,242	1,458	▲216
H23	222	435	▲213	1,043	1,081	▲38



いちき串木野市の取組

人口対策の基本的な柱

	考え方	主な施策
人口の自然増を図る取組	少子化に歯止めをかけるための施策	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て環境の充実 地域や家庭での子育て支援、仕事と子育ての両立、子どもの健全育成、経済的負担の軽減
人口の社会増を図る取組	産業・雇用面からの直接的対策	<ul style="list-style-type: none"> ■働き口の創出 産業政策：企業誘致、地場企業活性化 ■働き手の確保 定住促進、一次産業後継者対策

自然増を図る取組

少子化対策（子育て環境の充実）

母子保健・子育て支援

- 未来の宝子育て支援金事業
- 就学前の児童の医療費無料化
- 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌予防接種助成
- 不妊治療費助成
- 子育て支援員の配置
- 子育て支援住宅（定住促進団地）



子育て世帯への優遇措置
市外から
29世帯・85人の入居



鹿児島県いちき串木野市

社会増を図る取組

働き口の確保

企業誘致

- H23は2件の立地協定
- H24～事業所用水補助の拡充

景気の低迷
⇒県内では
企業の撤退も



地場企業活性化にも全力



働き手の確保

定住促進

- 定住促進補助金（市外から16世帯・47人）
- U・Iターン情報発信

一次産業の振興

- 新規就農者支援金
- 青年就農給付金
- 新規沿岸漁業就業者支援

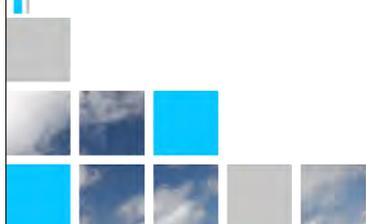


鹿児島県いちき串木野市



人口対策

～補完的な対策～



鹿児島県いちき串木野市

人口対策の基礎的な柱	
人口の自然増を図る取組	子育て支援など
人口の社会増を図る取組	企業誘致、地場企業活性化、定住促進など

■直面する人口減・高齢化の深刻化⇒新たな対策が必要



補完的な対策

	考え方	主な取組
交流人口の増を図る取組	外の力、需要を取り込む	<ul style="list-style-type: none"> • 地域を生かしたまちづくり • 観光振興と情報発信 • 交流を促進する基盤整備
住民のつながりを高める取組	人口内での連携・コミュニケーションを太くする	<ul style="list-style-type: none"> • 社会組織の活性化 • 歴史・文化への認識向上 • 伝統の継承・活性化

鹿児島県いちき串木野市

交流人口の増を図る取組

～補完的な人口対策～

交流人口の拡大を図る！！

食のまちづくり

■食を通じた活性化の取組

- ・ガイドマップの作成
- ・ポスターの作成
- ・看板、案内板の設置
- ・食育・料理教室
- ・新商品開発

■24年度の主な取組

- ◎特産品普及事業（浜崎シェフ）
- ◎うんまかもんグランプリinいちき串木野
- ◎食の拠点エリア構想



交流人口の拡大を図る！！

観光の振興

- 観光振興アドバイザー
- ボランティアガイド
- ホームページの充実



一次産業 (食の基盤) の振興

- グリーンツーリズム
- 就業対策
- 付加価値向上対策
- 直売所の活性化



みんなで取り組みましょう！！
「食のまち いちき串木野」

鹿児島県いちき串木野市

交流人口の拡大を図る！！

総合体育館の整備

- 鹿児島県の県外からのスポーツ合宿
平成23年度 約950団体、延べ11万人 (過去最高)

- いちき串木野市 体育・文化関係合宿補助制度 (平成21年度～)
⇒ 受け入れ施設の不足 ⇒ 他の市町村へ

総合運動公園の方針見直し

- 総合体育館と庭球場を整備、他は民間活力の活用を図る。
平成23年度：庭球場の整備・売却地は神村学園サッカー場



鹿児島県いちき串木野市

交流人口の拡大を図る！！

総合体育館の整備

建設の財源

■建設費19億2千万円（設計・工事）

財源内訳		金額
合併特例債 (95%)	18億2千万円	19億2千万円
一般財源 (5%)	1億円	
合計	19億2千万円	

24、25年度
市の負担
1億円

※1年平均
5千万円

完成後（26年度以降）に返済

21億4千万円
(利子を含む)

国から7割が補てん

15億円

市の実質的な返済額

6億4千万円

※返済期間20年で、
1年平均
約3,200万円

交流人口の拡大を図る！！

薩摩藩英国留学生記念館（仮称）

■平成27年度
本市羽島から渡欧して150周年

- 留学生たちの歴史・功績
- 本市の資源・財産
- 地域の資源を生かした観光の振興



羽島浦黎明公園

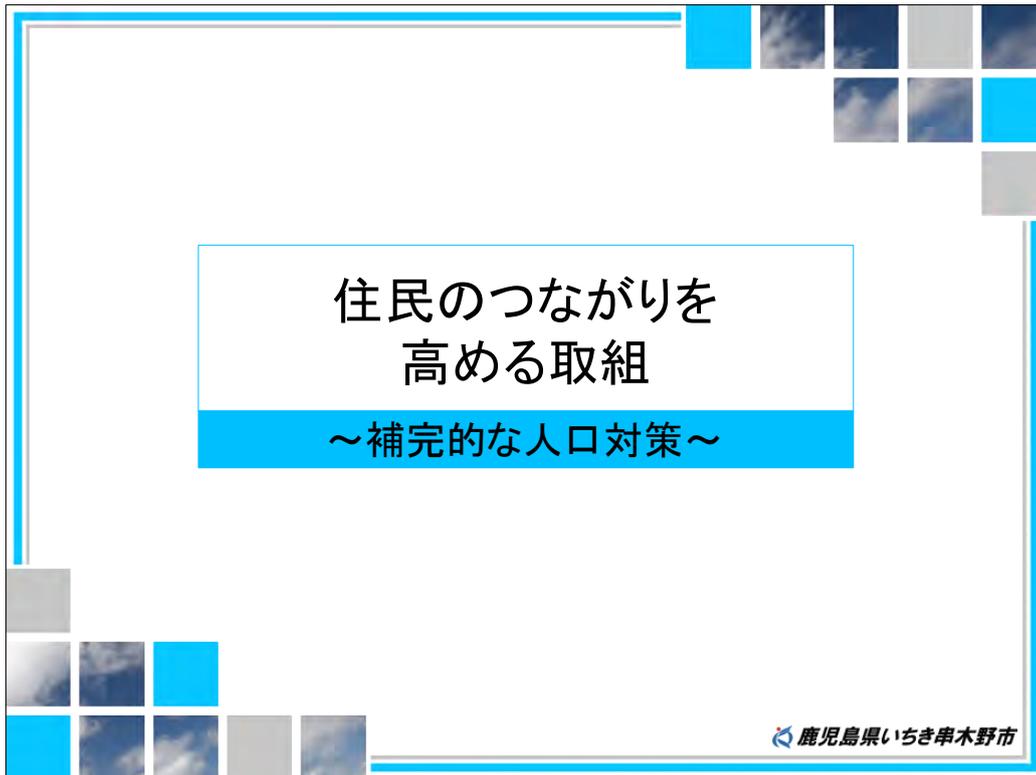
- 建設計画**
- 役割：継承、観光、学習、交流
 - 今後の予定
 - 平成24年度 実施設計・運営計画
 - 平成25年度 着工・完成
 - ⇒平成27年度 渡航150周年



- 24年度
- 展示資料収集事業
 - 実施設計（展示・建築）
 - 地域に根差した運営計画



長沢鼎の資料



住民のつながりを高める！！

共生・協働のまちづくり

まちづくり協議会名	設立総会年月日
川北まちづくり協議会	平成24年3月24日
れいめい羽島協議会	平成24年4月15日
本浦地区まちづくり協議会	平成24年4月17日
旭地区まちづくり協議会	平成24年4月19日
野平地区コミュニティ協議会	平成24年4月21日
川上コミュニティ協議会	平成24年4月28日
湊地区まちづくり協議会	平成24年5月20日
荒川地区まちづくり協議会	平成24年5月21日

■ 8地区で

「まちづくり協議会」設立
※他の地区でも準備委員会等で、協議会設立へ向けて話し合いが行われています。



■ 共生協働の拠点整備

本浦交流センターの建設
各地区交流センターの改修
既存公共施設の活用

■ 自治基本条例の策定

住民のつながりを高める！！

地域の歴史や文化

- 過去を知る
魅力の発掘
理解を深める
- 地域内外のつながり

保存・継承・学習

保存・継承活動の支援

- 伝統行事等の保存・継承支援
 - ・ 国指定七夕踊り 約400年
 - ・ 祇園祭200周年記念開催（8月4日）
- 郷土史編さん（歴史的史料の収集）
- 「いちき串木野検定（青年会議所）」支援
- 生涯学習活動の支援



取組を支えるまちづくり

～住みよいまちづくり～

取組を支える利便性の高いまちづくり



- 道路網
ネットワーク道路・生活道路
- 公共交通
バス・鉄道
- 生活環境
区画整理・町名整理・排水対策

